マンスリーシリーズ：国際エネルギー情勢の今月のポイント
欧州のエネルギー確保の動きと商流の変化

エネルギー経済調査部
日根　大輔

去る 2022 年 9 月 24 日から 25 日にかけてドイツのオラフ・ショルツ首相がサウジアラビアと UAE およびカタールを歴訪し、各国とエネルギー問題について協議を行ったことが報じられた[1]。このうち UAE との協議においてはその成果が早々に伝えられている。両国はエネルギー安全保障と脱炭素化・気候対策の強化に関する二国間協力の促進を目的とした「エネルギー安全保障・産業促進協定（Energy Security and Industry Accelerator Agreement、以下 ESIA）」を締結し、その一環としてアブダビ首長国の国営石油会社 ADNOC が 2022 年末より独・RWE に LNG を、また 2023 年より独・Wilhelm Hoyer に軽油を供給することが発表された[2]。

本稿執筆時点（2022 年 9 月 30 日）においては、サウジアラビアやカタールとの取り決めについてはまだ報じられていない。ただ、ロイター通信はショルツ首相訪問前の 9 月 19 日にカタールとドイツはガス供給について概ね合意していると報じており、これらの国々との合意事項も近く発表される可能性が高いと考えられる。

ロシア産ガスに大きく依存していたドイツにとって、ロシア産ガスの輸入量減少は同国経済に著しい影響を与えるものとなっている。現在ドイツはスペインが推進する MidCat（Midi-Catalonia）パイプライン構想を支援し、このパイプラインを通じたガスの代替輸入を期待しているが、パイプラインの敷設当事国であるフランスはこの計画への反対を表明し続けており、この構想の具現化が早期になされるかどうかは不透明な状況である[3]。いずれにせよ、欧州域内での問題解決を図るとともに、域外他国からの供給を確保していくことはドイツにとってその経済を維持していくための鍵であると言えよう。ただ、今回の取り決めにおいて UAE より供給される LNG は 2022 年が僅か 13.7 万立方メートルのみ、2023 年の供給についても「複数の貨物」と表現されているだけで、その数量は不透明である。軽油に関しても各月の供給量は最大 25 万バレルとされており、これらはいずれもドイツの需給状況を大きく変化させるものでない。中東からの供

---

[1] 各報道による。
[2] The National、2022.9.25 https://www.thenationalnews.com/uae/government/2022/09/25/uae-and-germany-sign-major-energy-deal-to-supply-gas/ 等各報道による
[3] スペインからフランスを繋ぐパイプラインで、スペインが輸入する LNG を他国へ配送することを着想して構想されたもの。

給がドイツをどれだけ助けるものとなるかは、カタール等他国からの供給を含めた各国からの供給量の拡充にかかってくるだろう。

＜中東―欧州ルートの拡充＞

ロシアによるウクライナ侵攻以降、欧州各国が中東湾岸各国にエネルギー供給についての協議を求める動きが活発化している。その多くは喫緊の課題である天然ガスの供給や価格の安定化を主眼としたものであるが、今回の UAE との取り決めにおいて石油製品が主要なアイテムのひとつとして取り上げられたことは非常に興味深い。

従来、特に原油について、湾岸各国から欧州への商流は大きいものではなかった。欧州製油所はその処理制約から主にロシアを含む域内原油や西アフリカ産原油の処理を前提としており、また、受入設備や貯蔵能力などの制限により、中東から多くの原油を購入することは難しかったのである。

他方、中東湾岸の産油国は自国産業の付加価値向上を狙い、長期にわたり国内製油所の増強や新設を進めてきた経緯がある。原料（原油）の単純出荷のみを行うのではなく、自身で原油を精製し国内の製品需給率を高めること、また余剰分を国外に出荷することで付加価値（収入）を増加させることを志向したもので、このために精製能力の拡張が必要とされたのである。

〔湾岸各国の大型製油所建設・増強の例〕

国名	製油所	能力（千 BD）	運転開始・増強
サウジアラビア	ジザン	400	2021 年[4]
UAE*	ルワイス[5]	922	2015 年[6]
クウェート	アルズール[7]	615	2022 年
オマーン[8]	ドゥクム[9]	230	2023 年（予定）

＊：増強

製品輸出において想定された主品目のひとつは中間留分である。精製能力の拡充において、ガソリン等の軽質留分は伸びゆく自国の需要へ製造される全量を供給することが

[4] 各報道による。

[5] ADNOC、https://www.adnoc.ae/en/adnoc-refining/about-us/locations

[6] 2015 年に大幅な増強が行われ、その後拡張を続けている。

[7] KPIC、https://www.kipic.com.kw/OurBusiness/Details/4

[8] オマーンとクウェートの協業による製油所。

[9] OQ８、https://www.oq8.om/construction-progress

前提であった。ただ、中間留分については余剰となることが見込まれており、各国は欧州をその有力な出荷先のひとつとして考えていた。欧州は石油製品に求める性状が厳しく、高度化された製油所からの出荷品はその要求を満たし、価格面で十分に評価されることが期待できる。また、欧州と湾岸諸国は地理的に近く、出荷先として想定するにはうってつけの地域であった。最近では欧州がロシア産原油回避の代替品として中東からの原油輸入を増加させている傾向にあるが、並行して製品の流通ルートが確立されつつある状況は湾岸各国にとって願ってもない状況であるだろう。

＜脱炭素時代への対応＞

ただ、欧州は脱炭素を推し進める主軸地域のひとつである。トランジッション・エネルギー源としてのガスについては一定程度の需要が引き続き期待できるが、石油エネルギーの需要については見通しが不透明な状況である。

今回締結されたUAEとドイツとのESIAにおいては、水素分野における両国の協力、また UAE の再生エネルギー企業 Masdar のドイツにおける風力発電事業の機会探求が織り込まれた。既に広く報じられている通り、これまで欧州と湾岸地域の各国は再生エネルギー事業や水素事業について様々な協議を行ってきているが、その多くは湾岸地域における事業展開や技術的提携、あるいは協業機会の模索を対象としたものであった。今回のように、今後は実際に事業を行う地域や市場を特定した検討が指向されていくと考えられる。

欧州への石油・ガス商流の強化は、欧州クリーンエネルギー市場への参入において湾岸各国を助けるものと考えられる。2019年9月、カタール・QP（当時）のCEOを兼務するアル・カアビー・エネルギー担当国務大臣は、同国のノース・フィールド・ガス田の事業パートナーについて述べ、目覚ましい付加価値を提供出来ることが選定基準であると述べたが、これは暗にガス市場における販売力を持つことをその条件であることを示唆したものであった[10]。ガス事業では世界各国の市場における域外生産者との競争が求められるが、事情に明るくない市場においては、その市場において販売力のあるパートナーの支援が必要であるからである。

この市場販売力という概念は湾岸諸国が「市場アクセス」と表現する、事業開発において最も重要視する要素のひとつである。新規参入事業域においてはその市場の事情を知るものが有利であることは言うまでもない。特に各国が取り組む水素分野では、資源エネルギーと異なり生産者が圧倒的なアドバンテージを保有しない。市場の事情を知り、

---

[10] ロイターなど各紙、2019.9.9

それを活かすことが最も重要な成功条件の一つとなる。アジアに関して湾岸諸国は長い取引実績を持ち、強力な「市場アクセス」を保有しているが、欧州についてのそれはアジア域ほどのものではない。従来事業での商流拡充を通じ市場アクセスを強化できれば、それは各国にとって理想的である。欧州にとっても、足元で脱炭素の道のりが不透明になっているなかで、一旦細くなった化石燃料供給国とのつながりを強化し維持しておくことは重要なことであると言えよう。

＜新しい商流と取引ハブの展開＞

2022 年 9 月 23 日付の Mees は足元の UAE での石油取引が活発化していることを報じた。UAE はロシア問題について中立の立場をとっており、欧州のロシア制裁における決済等の制約を受けない。これは精製・備蓄能力の拡充とともに同国での取引における強みとなっており、一部のトレーダーには欧州の拠点を UAE に移そうとする動きもみられるという。

制裁を課す側の企業が困難に直面し、結果として制裁に与さない（あるいは制裁対象国寄りの）国での事業が拡張されるというのは何とも皮肉な話である。ただその一方で中東から欧州への石油・ガスの流れは強まっており、これは無視できないものとなっているのも事実である。同地域と欧州との流通ルートが今後一層強化されることも想定され、これは現実的な動きであると言えよう。さらに、前回も記載したように制裁当事国であるロシアも同地域での自国製品の流通を狙っている。中長期的にみて、中東が石油・ガスのトレーディングハブとして成長する可能性は十分にあると考えられる。

以上